

平成23年度 室内環境学会学術委員会 活動報告

委員長		氏名	所属	役割
		東 賢一	近畿大学医学部	総括
委員	1.	阿部 恵子	環境生物学研究所	微生物分科会
	2.	関根 嘉香	東海大学理学部	化学物質分科会
	3.	野崎 淳夫	東北文化学園大学大学院	燃焼機器分科会
	4.	篠原 直秀	産業技術総合研究所	情報収集・発信
	5.	水越 厚史	東京都立産業技術研究センター	情報収集・発信
	6.			
	7.			
	8.			
	9.			
	10.			
活動概要		<p>【活動目的】 室内環境に関わる学術・技術の発展に資する施策の企画立案およびその成果に関する社会への還元。</p> <p>【活動状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員向け補助金制度（分科会活動の活性化や会員の調査研究活動支援） <ul style="list-style-type: none"> ・補助金制度の案を作成。添付資料参照。 2. 諸外国の情報収集および発信，基本情報のHP掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・担当委員案（国際雑誌数報のタイトルと概要紹介，海外機関の動向（1～2回程度／2ヶ月），室内空気汚染・測定方法・ガイドライン・用語等の基礎情報公開など）を了承。 ・今後コンテンツのたたき台を作成して数ヶ月間試行し，課題の有無を把握。 3. ガイドライン <ul style="list-style-type: none"> ・建築学会では野崎委員が主査で二酸化窒素とオゾンの学会規準を検討予定。室内環境学会とも連携し，室内環境学会では一般向けのガイドライン（注意事項や住まい方等）を作成する。 ・既往のカビのガイドラインについては，これをもとにガイドラインを検討，未発表の室内空気汚染のガイドラインは，次年度以降にWGを検討する。 4. 学生懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアモデルの講師として3名のを了承を得た。 5. 表彰制度の拡充の検討（学術分野） <ul style="list-style-type: none"> ・事業委員会では表彰制度の検討予定はなく，学術委員会で学術関連の表彰制度を担当することで事業委員会と合意した。 		
年会議予定回数		4回		